

広域需給調整システム（運用）の 開発に係る進捗報告

2018年5月23日

北海道電力株式会社
東北電力株式会社
東京電力パワーグリッド株式会社

中部電力株式会社
北陸電力株式会社
関西電力株式会社

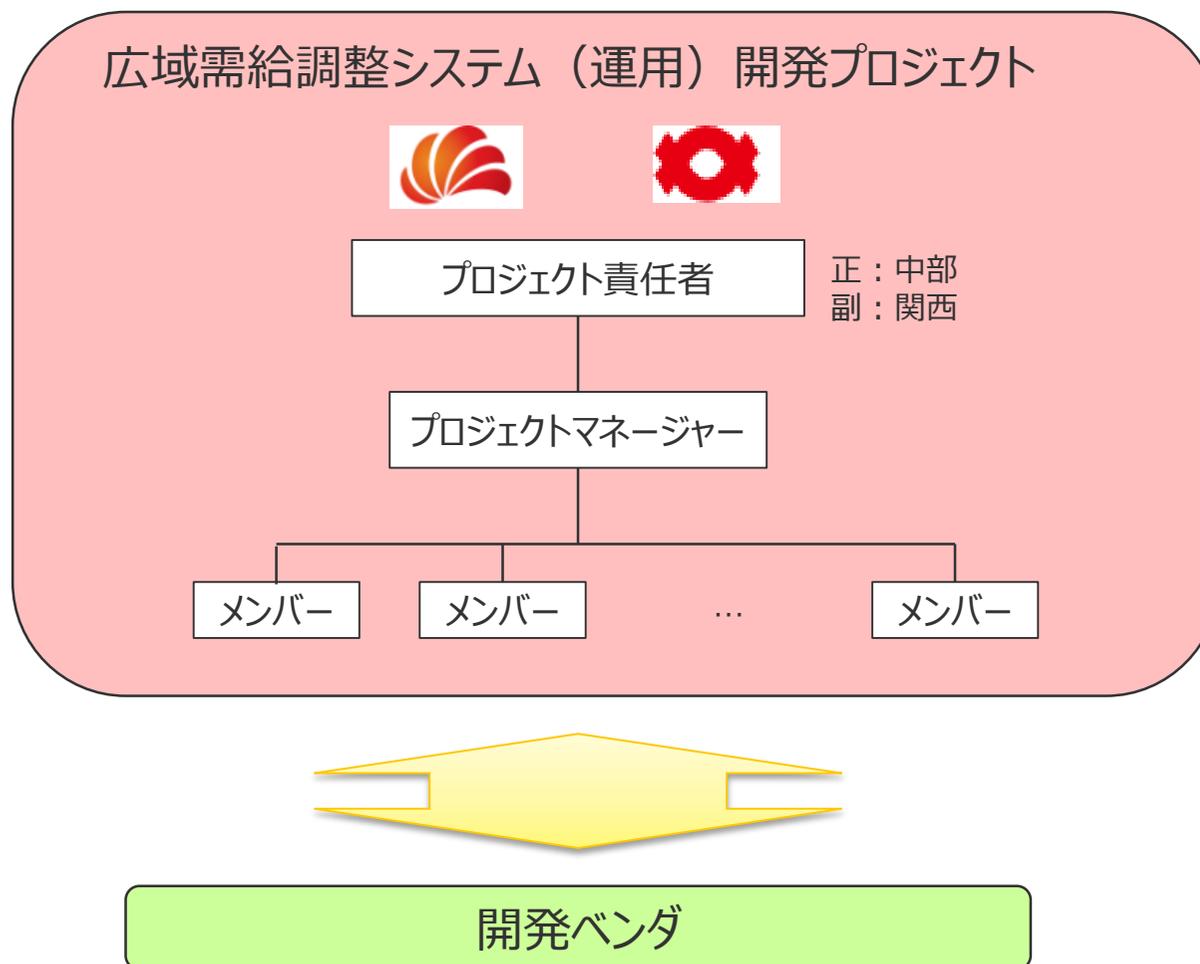
中国電力株式会社
四国電力株式会社
九州電力株式会社

01 | はじめに

- 広域需給調整システム（運用）については、第2回需給調整市場検討小委員会において、需給調整市場システム（調達）に先行して開発することが了承され、現在、システム開発の代表会社である中部電力と関西電力が発注手続きを進めている。
- 本日は、広域需給調整システム（運用）の開発・調達体制と至近のシステム開発状況について報告する。

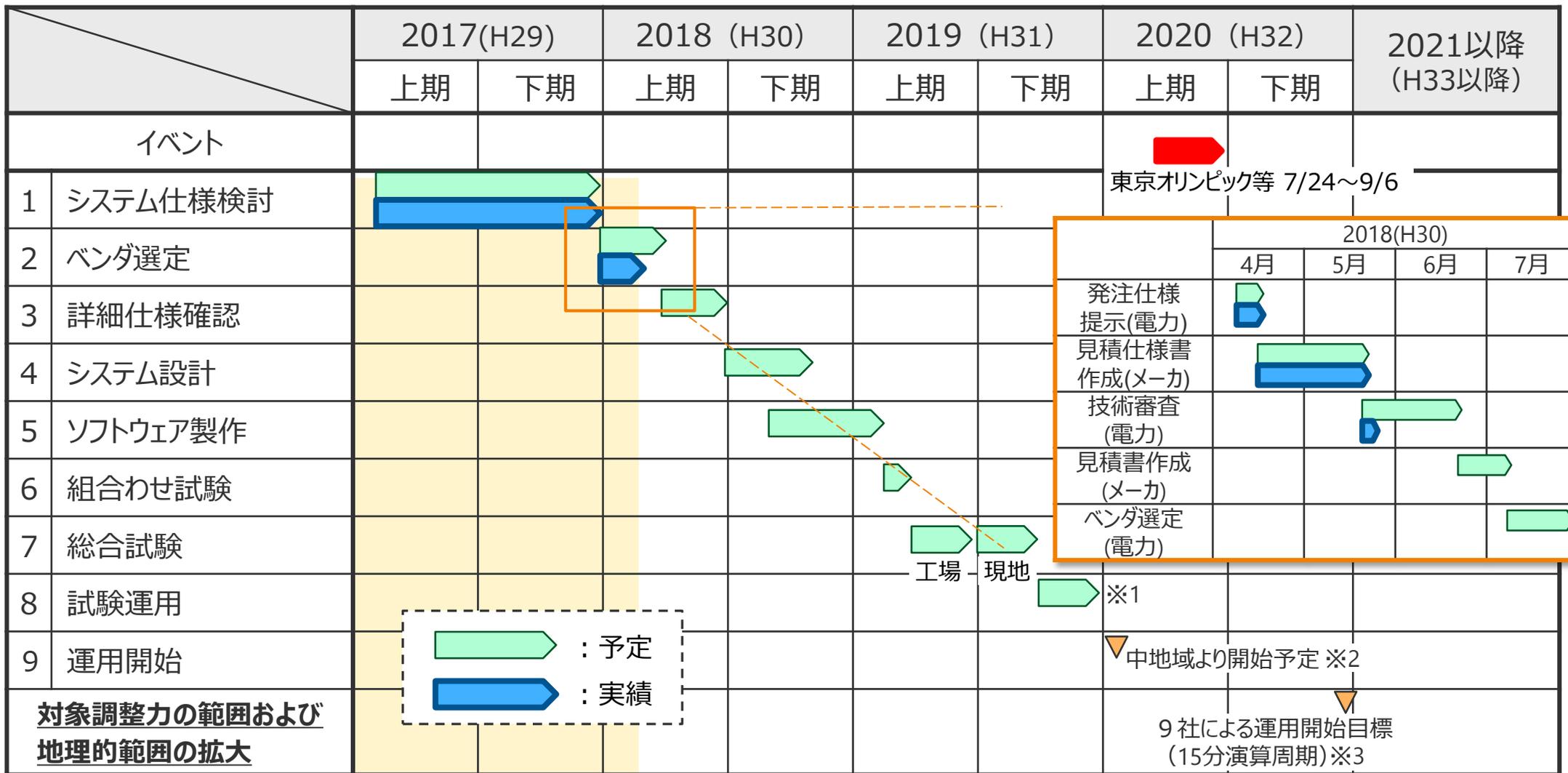
02 | 広域需給調整システムの開発・調達体制

- 広域需給調整システム（運用）開発にあたっては、プロジェクト体制を確立し共同調達を進めている。



03 | 広域需給調整システム（運用）の開発状況

○ 現在は開発ベンダ選定手続きを進めており、メーカー見積仕様書の技術審査中。



上表は、各ステップが順調に進んだ場合のスケジュールであり、システムの開発・検証を確実に実施していく。

※ 1 中部・関西エリア間で30分演算周期での試験運用から開始。実績を確認の上、北陸エリアを加えた中地域3社での試験運用に移行。

※ 2 30分演算周期で運用開始し、2020年度上期までに15分演算周期 [三次調整力①相当] まで対象調整力を拡大予定。

※ 3 具体的なスケジュールについては、広域需給調整システムの製作メーカーが決まり次第、各社中給対応の調整等も踏まえ、今後検討